

梅屋庄吉生誕150周年・明治150年記念シンポジウム

梅屋庄吉の時代とメディア



— 東アジア・長崎・メディア —

梅屋庄吉は、新時代の最先端のメディアをビジネスとして、東アジアを駆けた長崎人です。本年はその梅屋の生誕150年を迎えるにあたり、長崎歴史文化博物館では企画展「映画界の風雲児 梅屋庄吉」(2018.10.6～11.2)を開催しました。それを受けて、梅屋自身と彼の出身地長崎を視座のひとつに置きながら、150年前の東アジアのメディアネットワークについての学術シンポジウムを実施したいと思います。

PROGRAM

16:00	開会のあいさつ	水嶋英治 (長崎歴史文化博物館 館長)
16:05 ～ 16:25	全体報告 「東アジアのメディアネットワーク」	江藤茂博 (二松學舎大学文学部長)
16:25 ～ 17:00	映像上映+報告「映画界の風雲児 梅屋庄吉」	竹内有理 (長崎歴史文化博物館学芸グループリーダー)
17:05 ～ 18:00	シンポジウム「19世紀末の東アジアのメディア状況」 「長崎と上海の新聞メディア」 王 宝平 (二松學舎大学文学部教授 浙江工商大学特任教授) 「東アジアの映画史」 足立 元 (二松學舎大学文学部専任講師)	
18:00 ～ 18:10	鼎談 王宝平×足立元×江藤茂博	司会 / 牧角悦子 (二松學舎大学東アジア学術総合研究所所長)
18:10 ～ 18:25	総括 近代東アジアの「モノ」と文化	牧角悦子

日時

2018年12月23日(日)

16:00～18:30

場所

長崎歴史文化博物館

1階ホール

入場無料/定員100名

〒850-0007 長崎市立山1丁目1番1号

主催：二松學舎大学東アジア学術総合研究所・SRF プロジェクト、
長崎歴史文化博物館

後援：長崎国際大学

